

神戸医療生協支援ニュース

3月22日現地からの報告です。

・引き続きの滞在を懇願されていますが…指示があるまではここにいる事になりそうです。今日から看護協会が入ると言うことで交替できるかと思っていたのですが、来ていません。それと、今日から心のケアセンターが隔日くらいの予定で入っています。また明日からは歯科医師も入るようですが、夕方から朝までは私と北山さんだけになります。今夜も救護室お泊まりが三人あり、文字通り24時間体制です。避難所は風邪症状を訴える人が続出しています。(西川看護師)



・お疲れ様です

ようやく小学校に電気 水道が通りました 電気が付いたときは拍手でした。体育館に電気がつくとみんな起き上がり

笑顔 笑顔でした 体操すると笑い声があがりました 自治会長から交代で看護師を配置してほしいと言われていました。看護協会が今日来ると聞いていたのですが 来ない診察に昨日は30人間今日は40人 風邪ががっています 体育館は夜になると身動き取れない状況 昼は家の片付けに 仕事にと出かけています。明日から病院チームに加え 歯科チーム診察も開始になります。食料はしっかりいただいています。物資も入って来ています(北山保健師)

・お疲れ様です。長町病院二日目の報告です。

午前には仙台よりさらに南の岩沼という場所に向かって、被災者の方の安否確認に行きました。車に乗っている時に前後から洪水に挟まれ車ごと流された方の話を聞きました。幸い家族全

員が無事で、新しいアパートをかりて落ち着いて暮らしておられました。しかし、夜に車に乗れないなど心に傷を残しておられます。夜に車に乗ると、周り一面が海に見えて震えてしまうそうです。一種のフラッシュバックのようなものでしょうか。

午後は、新患・救急外来を担当しました。上気道炎が多いですが、肺炎に注意しながら慎重に診療しています。震災以降、環境が変わった方ばかりです。猫のいる親類の家に身を寄せて猫アレルギーがひどくなっている人、母親の介護に一生懸命で水もトイレも我慢していた結果、膀胱炎を発症された人など、軽症の中に震災の影響が垣間見えます。夜になると咳が止まらないと言う訴えが多かったことにもびっくりしました。震災後に粉塵などが待っているのでしょうか？

僕も他の地域から支援に入った方も、こちらにきてから花粉症がひどくなり夜はさらにつらい状況です。花粉だけでなく、何か他の影響もあるのかと穿った見方をしてしまいます。非医学的な内容も含んでいてすみません。今晚はこのまま寝れますが、明日は当直の予定です。(横尾医師)

・午前中つばさ薬局で調剤をしていました。今日から坂病院が通常診療を開始したということで、薬局を訪れる患者さんが非常に多かったです。息つく間が全く無い状態であつと言う間にお昼でした。最大3時間待ちだったそうです。午後からは昨日と同じく避難所チームが持つて行く薬等の管理をしました。そこを担当していた薬剤師が1人明日で帰るので明日からはそこが僕の持ち場になります(武政薬剤師)



■対策本部事務局からのお知らせ

3月22日現在：義援金 1, 436, 942円 クリエイト兵庫：267, 483円

義援金は、一旦3月31日で集約し、全日本民医連を通じて被災地へ送ります。

4月2日以降の支援者を募集しています。予定がつかましたら、協同病院 阪森まで！